

金口の勿効結語君!!

次きに報を出すことは余り也體骨を畢竟として我々工場労働者に苦悶を與ふるが故に記を讀むるに至る。

組合同盟向來合同労働組合は宣傳されを附によれば戰斗的な組合と云ふことであり故に水戸は我々三田土産会社の従業員三百名は加盟したのである。所が此の前の争いのとき交渉委員にあがられを幹部十名が千五百名下田崎重役は貢修吉遂に争罰をして何をために争ったか判らぬ。よしにウサムドにしてしまつた。此れは所謂デマではない。田崎社長が直向奔負に過られて没してと言ひ當時の幹部中それを受けたと語つてゐる。明らかでないが、之れは幹部中より前田ケンカからハクロされたのだ。

以来当三田土産の資本家は旧勢力たる田崎一家と新勢力たる興銀派との間に地位が統合して来た。それに対しても組合の最高幹部と称される當主に対する抗立して強固なる結束行動を必要とすると思つて居つたりでこの組合の高等政策方に深くモノを持つようになつた。

組合は木産業合組の荒浪に三田土産は浮沈の中に經營を続けて来たと見えて、元は店頭の経営は三田四四の分割補助で、既には油井に於て未だそのため従業員は家賃どころか米も買へなくなつて暮れた。一方組合員の体を害し、若し旧重役が軽く頭を下げれば新勢力の利く斗争に敗れ、その結果は、従業員は浮沈の如くである。